

大豊

発行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話杉55番
印刷 岩原印刷所
全戸無料配布

大豊の農林業改善へ いよいよ第一歩

目標は 生産性の向上と 所得の増大

施策の基本体系案 村議会へ提出

大豊村では村の農林業を改善し発展させていくため「大豊村の農林業施策における基本体系案」を策定し、このほど大豊村地域農業推進協議会に意見をききました。

協議会では慎重に研究協議をし、その結果を村長に答申し、村長は、その意見をもち、三月に開かれた定例村議会へ基本体系案を提出しました。

このことは農家個々にとつては、いかにいかに大豊村全体の発展に、非常に大切な問題であり、その概要を知ることによって、お互いによりよく研究し発展への力を結集する意味で、国や県の方、村の農家実態調査や答申の内容について解説のふれどをみまします。

国の農業構造改善 事業促進対策 改善事業には 補助と融資を

農林業の発展に資する施策については、国が農業基本法を、県が農林施策の体系を示しましたが、なかなか一気には万病にきく納得するようにはなりません。

これには、いろいろの業を与えるだけでなく、そのものを根本からよくして、よくいかにしなければなりません。

国は当面の農政のことも重要な柱として、この体系を改善する施策を総合事業としてとりあげることにしています。

このことは高知県農林部

毎年五市町村が事業の対象



改善事業を一市町村平均一億二千万円程度として、三カ年事業でこれに五千万円の補助金とほぼ同じ程度の制度融資を行なうこととされています。

この事業を全国の市町村のうち工業化予定地や、耕

地とくに少ない山村など一億二千万円程度として、三カ年事業でこれに五千万円の補助金とほぼ同じ程度の制度融資を行なうこととされています。

この事業を全国の市町村のうち工業化予定地や、耕

慎重な審議



大豊村でも、農林業の体質改善については多年の懸案となつてきたことでもあり、さきく役場企画室が中心となつて、この仕事に

農林業の構造を改善するためには、その対策が先づたてられなければならないことは、当然のことです。

その具体的な対策をたてるためには大豊村における施策の基本体系をたてておく必要があります。

基本体系は 農業推進協議会が 慎重に審議、答申

先づ、農林業といつても米作をはじめ果樹、畜産、特産など、いろいろの部門にわたつていますが、それが、それぞれに独立するべきものでなく相互に深い関係があるわけでは、ない。

従つて大豊村の自然的な条件に合ったように全般的なつながりを考え、常に新しい事態に即応できるだけの体制を村が備えておくため、全体的な構想がたてられなければならない、いけないというわけです。

それから具体的な対策がたてられ、事業が初めていくわけ

アンケート

「大豊村農林業施策の基本体系」を模つたためには農家の経営や日常生活の状態、さらに従事者の意欲などが、どのようになつていくか、その実態が、はつきりつかない限り、いかにいかに役場企画室では昨年から引続き、各分野にわたる綿密な実態調査を実施中ですが、これと関連してこのほど「考え方」および「一般的傾向」を知るためにアンケートをとりました。

調査は大豊村を十二の地区に分け、それぞれの地区から耕作面積別に十二の農家を抽出して対象としています。

従つて調査をおねがひした農家は百四十四戸になつています。

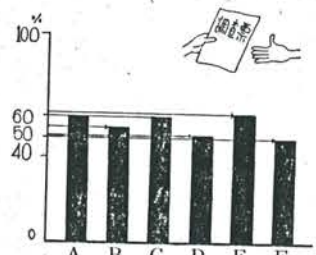
このうち回答していただいた農家は八十二戸であつて回答率は五十六・九％です。

大体、別表のように各階層から平均した提出があつて、全体的な傾向をつかむことができたと思つています。

調査の結果は、御参考までに、その一部を別掲のように図であらわしてみたい。これによつて大豊村農家の一応の傾向を御判断願ふと思つています。

A三反未満、B三反一五反、C五反一七反、D七反一町、E一町一町五反、F一町五反以上

調査に協力いただいた率



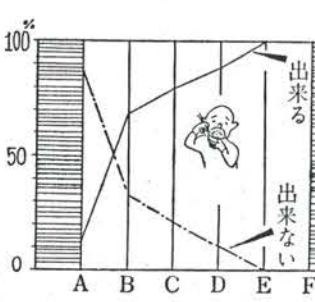
収入は何に頼っているか

依存度	20%	20% 40%	40% 60%	60% 80%	無回答
米作	10	17	19	5	7
畑作	18	3	0	0	47
特作	21	6	1	0	40
養蚕	9	13	4	2	40
園芸	1	3	2	0	62
格・三極	28	16	1	0	23
林産	4	7	3	7	47
農業外収入	46	27	9	8	48

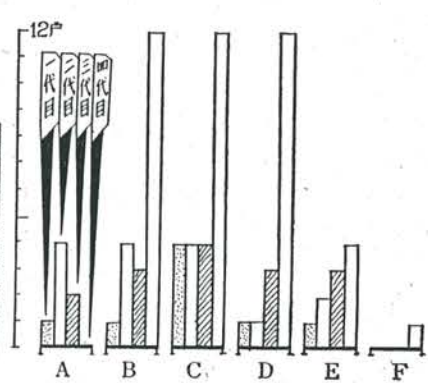
専・兼の別



主食の自給程度



農家として大豊に定着して何代目



今後の改善計画について

改善の必要がある 73%
現状のままでよい 17%
わからん 10%



収量を現在以上増すことができるか

出 来 る 出 来 ない

田 28人 48人

畑 39人 39人

(二面へ)

大豊農研連
研究実績を發表

大豊村農業研究会連合会では去る二月二十四日、大杉農園二階で三十六年度の研究実績発表会を行った。実績発表は次の六氏が行ったが、紙面の都合で上村正邦氏の「冷涼菜をとり入れて」を記載していた。	葛原生活改善グループ 久保寿美子さん 冷涼菜を菜として入れて 上桃園農業研究会 上村正邦氏 麦作生産費の改善 大田口四日クラブ
畑地深耕の効果について 南大王農業研究会 永森盛寿氏	桑名安男氏 記帳による生活の改善 八川やよい生活グループ 小松吹子さん グループ一年の歩み 岩原日の出会
共同研究に家計簿をとりあ げて	

農業	六二〇八八十八円 （差引）	六万二千八百八十八円	（差引）
マネブダイセンニ	男五十九人	男五十九人	
一袋、水銀ボルドウ七	女三十六、七人役	女三十六、七人役	
袋、DDT乳剤六十	一時間当り男百円、	女五十円として	
CC。	労賃合計七万七千三	百五十円	
※病虫害バイラス病、			
疫病、ネキリムシ。			
出荷始八月二日（二			
枝）			
最盛期八月二十四日			
から九月二一日（一			
日平均十四枚）			
出荷終十月二十八日			
出荷総量計四百七十			
八枚。			

（差引）	一万四千四百六十二円不足	（アキマメ）
播種	第一回五月六日ニア	
	第二回六月二十日ニア	
	アル。	

（差引）	一万三千三百二十円	私の家の場合、一時間当
差引残	女五十四人役	りの労働報酬は米七十二円
	（一時間当り男百円	
	女五十円として）	
	労賃合計六万六千五	
	百円。	

冷涼そ菜を
とり入れて

上桃原農研
上村 正邦
昭和三十六年度、我が家の冷涼地そ菜栽培実績は次の通りです。
〔トマト〕
品種 福寿二号。

面積	追肥Ⅱ第一回三段果房結果時、化成
八十坪六百五十本	追肥Ⅱ第一回三段果房結果時、化成
元肥Ⅱ大豆粕六十K	追肥Ⅱ第一回三段果房結果時、化成
硫安ⅧK、化成肥料	追肥Ⅱ第一回三段果房結果時、化成
(618—16) 八十	追肥Ⅱ第一回三段果房結果時、化成

收支 売上総額九万九千二百五十円。
内訳：松級七万一千九百四十円。竹級一万九千九百五十円。梅級七千三百六十円。支出肥料代六千二百五十円。農業一千

日から九月十五日一日平均十三枚。
出荷幹十月七日二枚出荷数量合計三百七十枚。
〔車価〕高値六百五十円。安値百三十円。平均二百八十円。

標で作付面積の増加と経営の合理化を推進したいとグループ員一同真剣に話し合いと計画を進めています。これと更に部落ぐるみ産地化への努力を続けていかなければならないと考えています。

東豊永地区 道路愛護会結成

東豊永地区では豊永駅から大畑井に至る県道の悪路に、常に悩んでいたが、去る一月二十一日、この県道を含め村、林道なども改修をせし、より立派な道路にしていこうと、道路愛護会が結成された。

役員、会則は次の通りだが事業計画は会長が各関係機関と協議し役員会で策定することになっている。

（会長）小松俊雄。（副会長）西村勘、大地幸次郎。（監事）近藤正年、豊永英光。（会計）山中万石。（幹事）各部落長。

（顧問）西谷興議、村長、議長、地区出身村議。本山土木。警察。営林各署長。東豊永農協。森林組合。地区内公立公民館長。落合消防分団長。商工会長。東豊永青年団長。日赤奉仕団。婦人会長。各小中学校長。同PTA会長。小笠原豊一。

小島清利。豊永孝一。東豊永道路愛護会会則

第一章 総 則

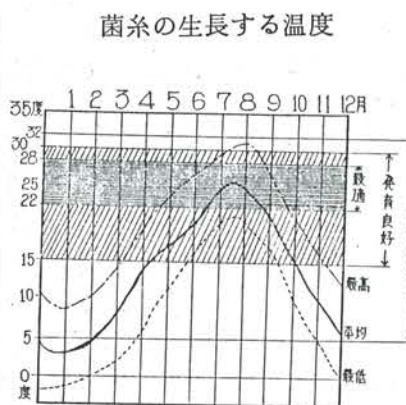
第一条 本会は東豊永道路愛護会と称する

第二条 本会の事務所は東豊永支所に置く

第三条 本会は東豊永地区内（東土居部落を含む以下同じ）に居住する者、及びこの地区に事業所、事務所、出張所等を有する、会社、団体、個人、並に本会の主旨に賛同するものを以て組織する

第二章 目的及事業

第四条 本会は社会奉仕の精神に則り自主的に道路（県道、村道及林道を謂ふ以下同じ）の愛護保全に努めると共に延長及び改修、事業を推進し、高度に利用出来る道路の完成を期し地区民の利便と文化生活の向上を図り併せて産業経済の開発振興に寄与することを目的

[illegible]

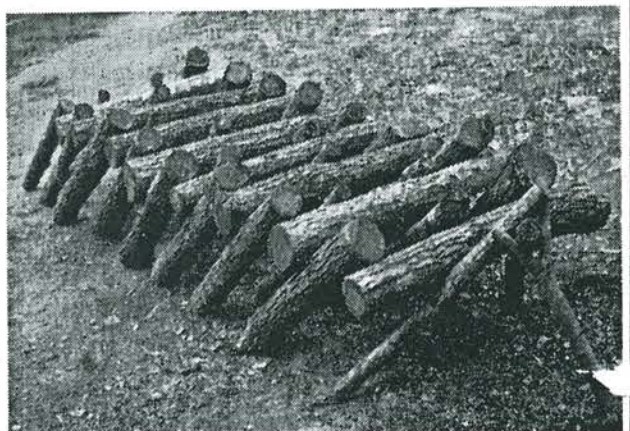
氏五度と三二度の間で成する
二度と二六度で最もよく
びる
つて夏は出来るだけ涼し
冬は暖い場所を選ぶこと
必要である。

図は大豊村の気温と菌糸

二、水はけが良好で落
堆積したり小笹が密

以上のようなことか
せ込み場所は次のよう
件が必要になつてくる
一、空気が絶えず流動
風のよい所

案件



写真は鳥居伏せ

ていて常にジメジメした所はよくない。
三、太陽の光線が樹間から五・六割程度洩れて来る所で南又は東南に面した傾斜地がよい。
然し実際に伏せ込み場を選び場合に以上のような条件をみたして呉れる所はそうザラにないのが普通である。そこで若し適当な場所がなければ人工的に環境を整えてやらなければならぬ。

例えば陽のあたり過ぎるような場合は伐せ込んだ原木の上に枝葉をかけ所要の庇陰を人工的に作つてやることを、笠木法と云つてゐる。この場合の枝葉は出来るだけ枝の葉を落すようにして伏せ込みの高さをかえてやる。即ち乾燥する場合

をする必要がある。
先づ梅雨の時期は高温多湿で雑菌の最も繁殖し易い時期で特にこの頃は通風をよくし過湿にならないように注意しなければならぬ。梅雨が過ぎたら椿木の上、下を替えて今まで地面に着いていた部分が上になるようにしてやれば理想でこれを「天地返し」と呼んでゐる。特に水ハケの悪い場所に伏せ込んだときは天地返しは必ず行ななければならぬ。

又雑草が繁茂すると周囲の湿度が高くなつて雑菌に侵され易くなるから時々刈払つてやる。
笠木をかけた場合は暴風のため傘木が吹き飛ばされて日光の直射を受け折角蔓延した菌もそのため死滅することがあるから時々刈廻つてやる必要がある。

原木に菌糸が伸びているかどうかは、一日百斤重向

椎茸栽培の手引 No.2

伏せ込みから
採取まで

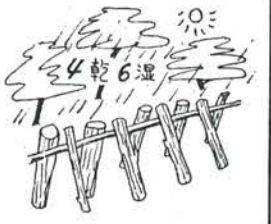
大杉林業相談所 技師 大塚誠夫

は原木を低く温度の高いときは高く伏せ込む。普通の伏せ込みの高さ（地面から横木まで）は、一・五尺〜二尺位である。伏せ込み方法には平伏せ、鋸伏せ、井桁敷、鳥居伏せなどいろいろある。



伏せ込み後の管理
農作業でも充分な管理をすることは直接収量に大きな影響をもたらすことは云うまでもない。椎茸栽培も伏せ込みだけでなくその後の状況に応じて充分な管理を

これは菌糸が伸びるときよりも発芽には湿気が必要だからである。しかし余り湿気が多すぎるとは茸の発生が少くなり品質の悪い茸となる。質の良い発芽には湿気と共に太陽の光線（明るいこと）も必ず必要であるから薄暗い林の中などは槽場として適当でない。次に得起しの方法は地形が普通一般に行われているのは四尺位の横木だと三尺一・五尺位の横木を葎や杭などを使って横木を渡すにけ（合掌）に組む。この場合次のことに注意を要する。大量に栽培される場合



四、槽場の状況によつて例
 えば比較的に乾燥く土地で小
 槽木と地面の角度を小さく
 湿気と地面の角度を大きくし湿気
 の調節を計る。

自用とともかくとて栽培され、場合にもよくとて少くとも収入を得ようとして少くとも区別をつけ難い品物と云ふから、厚葉のもの、しん、厚葉のものは「ごらん」は九分開きて採取する。掛け、「ごらん」は日和多く、比較的湿度の低い低温で出ると大体七、八分開きて「ごらん」は九分開きて採取する。二、生で売る場合の採取とは、生で売るときとて少くとも区別が必要である。これは輸送中に問題になる。又出荷先の市場によって、好みを研究して探ることも大切ですが、七、八分開きで採取したもの、品持ち

立野田村万石

本は旧四ヶ村を基盤として、
 時代の変遷に従つて実現さ
 れたものであつて、又それ
 には我々祖先が幾百年に亘
 る間の努力や犠牲によつて
 築き上げられた、栄枯盛衰
 や天災地變を踏み越へて培
 はれた尊い歴史があるのだ
 である。是等歴史は或は記録
 より又は以伝説として受
 け継がれ、神社仏閣と我々
 と居るのである。

我が大豊村は和衷協力の一
 村是と善政により発展遂げ
 年にして目麗しい免役を立
 げ、財政の基盤も亦確立し
 名実共に全国の雄村として
 恥ない態勢を整へ輝しい明
 りが約束される状態に立ち
 到つた事は廣賀に堪へない
 のであるが、未だ今日に到
 っても村誌編纂に關し議會
 は勿論一般の論が起らない
 事を不思議とすると共に
 誠に残念である。

この際に於て村誌編纂の

愛国心は歴史を通じて増はれ、愛郷の志念は醒はして郷土の風光と祖先を伝える風習伝説、或は幾多先輩の残した業績を恕ぶ事によって生まれて来るのである

事業を完成しなければ、旧四ヶ村に散逸する貴重な資料は次第に散逸して確実なる資料の収集は困難となり完全なる村誌の編纂は到底望み難く悔を百年の後に残す

あのクサホーをおだてて

かせえということになり
もそのメンバーに仲間入
、国、村の補助をあおぎ
はしり、ハチの巣をつつき

地農道というもうひとつの農村の発展の道になりまして、これは先づ事業主体の地改良の誕生が先決問題で、それがまたさくさく上り、地改良区は事業上落とした如くみだれはてた土地改良区のできないこととは単に農道がでるのみにとどまるのではなく、その及ぶところは広範囲にわたり、結論として部落の存

亡にかかる重大問題で僕はこれに深く憂慮して農道問題産みの親、某村議村係員の諸兄に事情を話し、深夜に一度ならず御足労を願ひ説明説得と、乱れたとはい

へ良識者もあり、アツセンにのりだしあれやこれやの手を打つ。

日時が経れば頭も冷え思ひなおしたケンカ組諸公、これじやいかにぞと手をこ

おっとさわらん無関心、となかれ組等々で、まず重組と過激組の討論の火を切る。

前後数回、ガン首ならべ

やる。

やはり氏神同拝者、潜在する愛郷の精神に呼びもどされたのだらう。

改良区に要する役員の員

結果を感へるものである。村当局に於ては直ちに本問題と取り組み、適當なる予算措置を講ずると共に、旧村資料の確保に努め、ガチリした組織を作り一般村民は是に協力して各種資料を提供し故老学識者神官僧侶等の参加協力を求め完全なる村誌作製に力を致すべきである。

敢へて村誌編纂の必要を述べた村当局に要望すると共に、一般村民の与論を喚起して之が実現に積極的な援助を乞ふ次第である。



に
長 驛

農協貯金で富士五湖、東京
日光観光をいたしましょう

経費一万三千円で
十一月上旬

国鉄大

姿を神祕に映して美しい富士五湖、遙かに早雲山の噴煙を眺めながらの名所箱根巡り、月の美しい江の島を経て、世界一のマンモス都市、大東京見物、日光、中禪寺湖、鬼怒川、熱海、伊豆の景勝は必ずや皆様の心を慰め、疲れをいやして、御満足をおくれるものとおもいます。

会費は旅費、宿泊、弁当代等全部で一万三千円です。

御申込みは、農業協同組合へ一千元を旅行積立貯金としてお預け下さるか、又、直接大杉駅まで御申込み下さい。

国鉄大杉駅では、みなさまに、楽しく愉快な旅行をしていただくために、今年十一月下旬出発予定の富士五湖箱根、江の島、日光、東京熱海、伊豆巡りの臨時団体

七周年記念行事

期日 四月中旬
式典 (功労者表彰を含む)の
ほか
娯楽劇映画を
各小学校十二校下で
無料上映します
期日会場は決定次第、各部落長さ
んを通じて案内します

大豊村消防団

あほうのもちつき
農道の巻

部 戸手野部落長 公文 正則

出来得る条件の備つた者が
ない。
云いおくれているが有線
また今回の農道の件も共に
設立準備中より事務方萬端に
先輩が主役で僕はこれを補
佐したに過ぎん。
古人の言をよむのが雨
降つて地かたまるとはよく
聞いたものだ。何組を問わ
ず、すべてがわかり挙げて
しておるけれど、それ以外
の土地をも必要とするので
關係者をアチコチ話しまわ
って大体は話しがついたが
一つ所植林七十メートル位
のところ（當時、高知市在
住者所有地）がとても難か
しう僕たばかりでは手に
おえなくなり（交渉中に売
却の問題が起る）、支所長
農協専務、某村議の諸兄に

課長さんも含めて終日支所に於て打開策の協議。まさに力に馬をのりかけたかっこうになった。調停団ナゲキ、イカって曰く「責任の所在何處なりや」と、誠にその通り、僕は消えたい思想がした。

そこで一同思ひついた名案は、僕もかつて戦場の体験もあるが戦勝堅着状態となれば砲爆撃を加えれば

だり赤くなり青くなり七面鳥の如く、屋外のトモシ火にも似たる心境でした。ウス頭またも二十二、三本の消耗。

感謝の辞

産んで育てて歩かして、つまづき倒れりや引起し、ほこりを払い方向をしめす道の親御よ有難う。

昭和三十一年度大豊村水稻病虫害防除計画

除時期	対象病害虫	使用農薬名	一〇アール(反) 当撒布量	注意及び参考事項
四月中 下旬	ツマグロヨコバイ	マラソン乳剤 三%	五〇〇倍三六リットル	苗代除紙後一回撒布 田植直前
五月中 旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン乳剤 三%	五〇〇倍八〇リットル	田植後十五日前後
六月上 旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン乳剤 マラソン粉剤一、五%	一〇〇〇倍八〇〜一〇 リットル 三キログラム	有効分けつ中期
六月上 旬 下	イネクロカメムシ	BHC粉剤三%	三キログラム	越冬成虫の駆除
七月上 旬	紋 枯 病	モンゼット粉剤 アソジン粉剤	三キログラム	発病直前撒布
七月中 旬	紋 枯 病	右 同	四キログラム	蔓延直前撒布
七月中 旬	穂いもち病	有機水銀粉剤 ブラエスMM水和剤、錠剤	三キログラム 指示による 三キログラム 一〇〇〇倍一六〇リットル	出穂直前撒布
七月下 旬	穂いもち病	右 同	右 同	穂揃期撒布 薬害を生じやすいので 撒布量に注意
八月上 旬	穂いもち病	右 同	右 同	穂揃期(穂揃期撒布後 十日)

防除時期	対象病害虫	使用農薬名	一〇アール（反）当撒布量	注意及び参考事項
五月下旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン乳剤 マラソン粉剤三%	五〇〇倍三六リットル 二キログラム	植付前十日前後撒布
六月上旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン乳剤 マラソン粉剤一、五%	一〇〇〇倍三六リットル 二キログラム	田植直前撒布
六月中旬 上	イネクロカメムシ	BHC粉剤三%	三キログラム	越冬成虫駆除
六月下旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン乳剤 マラソン粉剤一、五%	一〇〇〇倍九リットル 三キログラム	田植後十五日前後
七月上旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	右 同	一〇〇〇倍八〇〜一〇 リットル 三キログラム	有効分けつ中期
七月下旬	紋枯病	モンゼット粉剤 アソジン粉剤	三キログラム	発病直前撒布
八月下旬	紋枯病	右 同	四キログラム	穂孕期蔓延直前撒布
八月上旬	穂いもち病	有機水銀粉剤 有機水銀水和剤 ブラエスMM粉剤 ブラエス水和剤 錠剤	三キログラム 指示による 三キログラム 一〇〇〇倍一六〇リットル	出穂直前撒布
九月上旬	穂いもち病	右 同	右 同	穂揃期撒布 撒布を生じやすいので 撒布量に注意
九月中旬	穂いもち病	右 同	右 同	傾穂期（穂揃期撒布後 十日）

- 一、ツマグラココバイ、ヒメトビウソカ等の多発地帯は共同一斉防除を行うこと。
- 一、イネクロカメムシ新生虫には、バイジツト乳剤（一〇〇倍）又はバイジツト粉剤（二％）を使用する。
- 一、葉いもち病は別途防除すること。（有機水銀粉剤、水和剤、錠剤）
- 一、紋枯病いもち病同時防除の場合は有機水銀砒素粉剤を使用する。
- 一、ブラエスM剤は目に入らないようにし、濃厚散布を要すること。

大 豐 村
大豐農業改良普及所
大豐村各農業協同組合